

例会 NO 9 3

No 3- 10 1992.9.24 発行



1992~1993RIテーマ
まことの幸福は
人助けから
RI会長 クリン・ダフターマン

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第93回例会報告(9/9)

司会 田中 実

☆点 鐘

会長エレクト

横倉 舜三

☆ロータリーソング

「手に手つないで」

リリィダー

SAA 吉沢 洋景

☆お客様紹介

会長以外 横倉 舜三 [初司会]

由井 重光様(特別代表)

布田 正昭様(東京多摩RC)

岡野 一馬様(東京多摩RC)

大門 加奈様(ローテックス)

副田 景子様(ロータリー財団奨学生)



☆会務報告会長エレクト 横倉 舜三

なし

☆幹事報告

幹事 遠藤 二郎

*公式名簿について

国際ロータリーより
1992~93年度版の公
式名簿注文の依頼が
きております。

*ロータリーダイアリ
ーについて

次年度のロータリー



ダイアリーの案内が参っております。一部
1000円ですので事務局へお申し込み下さい。

*チャリティーコンサートのご案内

(国分寺RC)

11月21日(土)PM6時30分より、場所は
府中の森芸術劇場「どりーむホーム」
S席 4,500円、A席 4,000円
申込みはお早めに事務局へ

*委員会活動計画四半期報告書について

各委員長は来る9月21日までに提出して下
さい。この中で会長、幹事、理事会、また
他の各委員会に対する要望、提案があれば
記載して下さい。委員長個人のご意見でも
良いのでお願いします。

*グアム島台風災害義捐金について

国際ロータリー第2750地区ガバナー事務所
より、グアム島は8月28日台風15号に直撃
され、多大な被害を被りました。本日9月
2日現在、電力は島の僅かな部分で復旧し
ている程度、水の供給は島の約半分程度、
約3000人の家が壊されたため学校の建物に

避難しております。又 250人の怪我人が出ましたと被害状況を伝えてまいりました。つきましては、同じテリトリー内の災害でありますので、義捐金として会員一人当たり1000円のご協力をお願い致します。

☆委員会報告

★出席委員会 出席委員 海野 栄一
〔出席報告〕 (出席免除者 2名)

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	43	30	3	10	76.74%
前回訂正	43	38	1	4	90.70%

〔今週のメークアップ〕

赤尾 恭雄

(9/8 多摩)

松原 健

(9/8 多摩)

伊神 稔

(9/9 札幌)

〔先週のメークアップ〕

奥木 博勝 (9/8 多摩)

〔欠席届者〕

猪股 末男、小坂 一郎、内藤 実、
中山順一郎、奥田 文夫、城倉 正博、
高野 範城

〔欠席者〕

大松 誠二、今井 正司、吉原光太郎

★親睦委員会 親睦委員 宮本 誠

9月3日、分区野球大会が府中健康センターで開催され、優勝候補の調布RCと対戦し14対1で敗けました。

ニコニコBOX

親睦委員 藤本 吉文

布田 正昭様

(東京多摩RC)

お世話になります。

岡野 一馬様

(東京多摩RC)

市民水泳大会ではご協力ありがとうございました。宮本さん、大熊さんご健闘感謝します。



吉尾警太郎 きょうは両足に靴を履いております。元テニス部

宮本 誠 とにもかくにも野球ができました。

橋口 洋三 9月3日の野球大会で調布RCに14対1で敗けたので。

杉田 誠 やっと秋になりました。

吉沢 洋景 吉尾さんギブスがはずれておめでとうございます。

新海源四郎 横倉恒雄さんお待ちしていました。

北村 幸彦 大門さん卓話楽しみにしております。副田さんようこそ。

大熊 将夫 横倉恒夫さんの姿を拝見して大変嬉しいです。岡野先生、布田さん、他のお客様ようこそ。クラブの野球大会、応援の赤尾夫妻をはじめ参加者の皆様、ご苦勞様でした。ビックリした事が3つ①相手チームが盗塁した事②捕手がサインを出した事③コーチボックスにコーチが入った事。

以上合計 27,000円

【多摩市民水泳大会参加御礼について】

多摩市水泳連盟会長 多摩市水泳大会々長
多摩RC会員 岡野 一馬

9月6日市民プールで第13回水泳大会を行い、選手が3844名集まりました。応援の家族を含めると約5~600人の人達がプールサイドに集まりまして、盛大に行われました。当クラブからは、宮本さん、大熊さんが参加され、年齢別のレースに出て頂きました。宮本さんは50メートルの自由型に、大熊さんは50メートルの平泳ぎに出場し素晴らしい泳ぎを披露して頂きました。来年も開催しますので、皆様もぜひ思い出の為に参加して下さい。

★社会奉仕委員会

社会奉仕委員長 吉尾 警太郎

手話の講習会で16人登録の基に続けて参りましたが、本来9月で終わる予定を6ヶ月間延長することに致しました。第1・第3例会の後に行っておりますのでご出席下さい。我々は初歩的なことを繰り返し行っておりますので、これからやってみてみたい方はご連絡下さい。

▼▼【卓 話】▼▼

〔講師ご紹介〕

国際青少年交換学生地区委員

東京多摩R C 布田 正昭

今月は青少年活動月間と世界理解月間ということで、89年3月から一年間アメリカのネブラスカに行っておりましてローテックスの大門加奈さんをご紹介します。現在は聖心女子大学の一年生です。多分本人は15才の時に日本を離れたように記憶しております。私が幹事をしている時で、まだ幼い顔をしていました。留学の為1年遅れて大学1年ということですが。

ローテックスというのは後輩達の面倒を見る。例えば野沢麻衣子さん達は自分の力で文章を書いていると思いますが、実は留学の経験者達が手助けをしているわけで、申請書を書いて上げたり、外国人の相談や融和の為に良く働いて下さる方々で、その中までも大門さんはよく活躍しております。ロータリアンではないがロータリー的な活動をしている方で月に1～2日はその為に時間をさいて頂いているのではないかと思います。

↑

『交換留学生の思い出』

ローテックス 大門 加奈

私は5才の時、父の仕事の関係で、アメリカのペンシルバニア州に家族と、1年住んでおりました。あちらにいて、いきなり現地の日本人の他に誰もいない幼稚園に一人で行かされた。私が両親に教えられて知っていた唯一の英語は「I want go to a bathroom、トイレに行きたい」という言葉でした。でも私が生まれて初めて見る、目も髪の色も顔立ちも話す言葉も日本人と全く違う友人達は、私を暖かく受け入れてくれました。日本の幼稚園よりも自由で伸びのびとした雰囲気の中、2・3ヶ月もすると英語はべらべらになりました。小さい時の吸収力はすごいと思います。よく「パパとママの英語の発音は悪いよ」な



どと生意気なことを言っていたことを思い出されます。

幼稚園の同年代の友人だけでなく、私は大人のアメリカの人達とよくコミュニケーションをとっていました。私が熱心に折り紙の折り方等教えると彼らは「こんなに小さい子」がこんなに器用に紙一枚から色々なものを作り出してしまふ。と関心していたようです。私は5才にして無意識のうちに日本文化の紹介を務めていたわけです。

中学校に入って英語を習い始めた頃から高校生になったら、絶対に留学したいと思うようになりました。そして高1の4月にロータリー青少年交換委員会の留学生の募集が学校の方から発表されました。今だから言えるのだが、私はロータリーというものについて全くその存在すら知りませんでした。でも今私はロータリーで留学させて頂いて色々な意味で本当によかったと思っています。

ロータリーの試験に受かり、アメリカに派遣されるまでの9ヶ月間様々なオリエンテーションやキャンプを通じて、留学生に対する心構えを教えて頂きました。私達は小さな親善大使であること、政治家たちでもできないような国際的理解の手助けをするのだということを実感しました。留学する前は英語などその行く国の言葉を勉強することも大切だと思いますが英会話などは実際にその国に行ってしまうと何とかなってしまうものです。自分の国について何を質問されても恥ずかしくないように勉強していくことが一番大切なのではないかと思います。

〔留学で是非やりたかったこと〕

ホストファミリーや友人、町の方達に日本という国について私を通して少しでも理解して頂きたいと思いました。そのために日本でお寺や都心のビル、家族、学校、友人・・・などの100枚くらいの写真やスライドを用意して行きました。高校や小学校、幼稚園そして様々なクラブや教会でお見せできる機会に恵まれ、皆さん喜んで下さいました。留学先での日本に対する関心や知識は全くと言っていい程ありませんでした。はじめはよく「日本はいつ中国に返還される?」「日本でも英

語を話すんでしょ」といったような子供のよう
な質問を大人からもされていました。でも
私が帰る頃には「私もいつかきっとカナに会
いに日本に行くからね」と言ってくれる友達
やホストファミリーが沢山でき、親善大使の
役割を少し果たせたのではと自負しています。

私の派遣先は、アメリカのネブラスカ州の
オードという2600人の人口の小さな田舎町で
した。オードはダウントOWNを中心に家が集
まって建っていて、どこへでも歩いて行ける
ような町で、又どこへ歩いて行っても知って
いる人に会うような町です。町を一步出ると、
隣の町までは車で15分間、見渡すかぎり地平
線まで畑という雄大な景色が広がっています。
町中みんながみんな知り合い同志なので、夜
でも留守中でも誰も家の鍵はかけません。ネ
ブラスカの人は一一般的にとても温かくフレ
ンドリーで私も知らない人でもすれ違う人に手
を振ったり、道でも「Hi!」とあいさつす
るのが当たり前のことでした。

外国人や黒人は全くいないような町で、私
の存在はとてもめずらしいものだったようで
す。地元の新聞の一面に紹介されたりしたの
で道を歩いていた、お店などにいても、あ
なたが今度日本から来た子ね。と声をかけら
れたりしました。小さな子供までが特に髪も
目も違う私を珍しかったようで、ジーと見つ
められたりしました。アメリカの大都市のダ
ウントOWNと違って田舎の町は本当にのんび
りした町で温かい人達に囲まれながら生活で
きたことをとても幸せに思いました。

89年の3月にオードハイスクールのジュニ
アクラスに入り、夏休みを終えて8月にはク
ラスメイトと共にセニアクラスになりました。
授業はスペイン語、体育、アメリカ史及び政
治、英語、タイプ、数学など学びました。テ
ストは皆んな同じものを受け、留学生だから
と言って、特別扱いせず一緒に勉強し友達関
係もより深くなりました。友達に関しては最

初は友達づくりに苦労するという話を聞いて
いたのですが、私はこういった苦労は全くあ
りませんでした。

夏休みにはミネソタ州のロータリーの主催
の東海岸バストリップに100人以上の留學生
達と共に参加しました。あの3週間は本当に
一生忘れられない思い出でした。

日本には様々な留学制度がありますが、私
はロータリーの交換留學生として留学出来た
ことをとてもうれしく又、誇りに思っており
ます。留学前の準備期間、そして留学中も終
わって帰ってきてロータリー生同志のすて
きな絆は大変深くなりました。それはきっと
ロータリアンが他の国のロータリアンとお会
いになる時に何か通じ合えるものを感じるも
のと同じ感覚だと思います。

又ロータリーのYouth Exchangeのプログラ
ムは帰ってきて終わりというのではなく、帰
ってきてローテックスとしての活動を通じ
て留学で学んだことを更に生かして、留学を
前にした高校生達にアドバイスすると同時に
私も初心に戻って勉強にもなるし、又来日学
生が日本で素晴らしい思い出づくりをするお
手伝いが少しでもできることも、本当にうれ
しい事です。そして私にとって多くのロータ
リアンの方達とお会いできることも大きな財
産です。ロータリーの青少年交換のプログラ
ムを通して私は本当に沢山の方と出会うこと
が出来ました。心から感謝しています。

◆前回の訂正

第92回例会報告(9/2)の会務報告の内、
8項目「8. 下記新会員候補者の入会を承認
した。」を「8. 下記の通り、新会員として
推薦され諸手続きを経て理事会で承認されま
した。異議のある方は本日より10日間、9月
12日までに文書にてお申し出下さい。お申し
出のない場合は当クラブとして、入会を認め
たこととなります。」と訂正致します。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会 長：赤尾恭雄
幹 事：遠藤二郎
会報委員長：奥田文夫

副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
杉田 誠・佐伯和廣・隅 耕造
小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30